

第三者評価結果

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
【A1】	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「保育の質を上げる会議(議事録)」「年間策定会議(2019年3月3日)」「キックオフミーティング(2019年3月22日)」「保育品質マニュアル 3-6個別記録(2019年1月17日版)」「保育運営マニュアル(2019年2月27日版)」、ヒアリング</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人にて毎3週火曜日に開催する「保育の質を上げる会議」での保育の見直しを通じて、保育課程に繋がる保育内容を定期的に評価、見直しを行っている。 ・年間策定会議、キックオフミーティングにて、保育課程に繋がる次年度に向けた会議を実施している。 ・年間策定会議にて法人全体で共通の理念・目標(運営ミッション)を掲げ、共通理解の下、次年度の保育課程作成に着手している。 <p>【改善を要する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育課程の評価プロセスは通常の振り返りに留まり、PDCAプロセスを確立していないため、保育の質の向上のため定期的に現状を見直し、改善策を実施していくことが必要である。 		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
【A2】	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「保育品質マニュアル」「保育運営マニュアル」「職員会議議事録(2019年4月12日、11月8日)」「キックオフミーティング(2019年3月22日)」「子どもの人権チェック表(2019年4月12日分)」、ヒアリング</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルに基づき、子どもが心地よく過ごせる環境を整備している。 ・設備点検チェックリストを活用し、定期的に設備の点検を実施している(2019年5月25日、7月25日、9月25日実施済)。 ・キックオフミーティング、年2回の職員会議において、全職員が「子どもの人権チェック表」のチェック項目90項目を確認し理解を深めるよう努めている。 ・各部屋に加湿空気清浄機を設置し、温湿度管理をこまめに実施している。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床、トイレ、沐浴室、厨房等の清掃やおもちゃの消毒を実施し、チェック表に記録して徹底している。 <p>【参考意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ清掃のチェックリストに押印がない日があるため、トイレ清掃の徹底が望まれる。 ・加湿空気清浄機はカビが発生しやすいのでこまめな清掃の徹底が望まれる。 		

【A3】	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「クラス会議(議事録)」「指導計画の見直しの記録」「保育記録」「保育品質マニュアル 4.保育の項目」、ヒアリング、現場視察など</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子、言葉、友だちとの関わり方などを見守り、一人ひとりの子どもの個人差を把握して対応するよう努めている。 ・新入園の子どもには、安心できるよう、心のよりどころとなるタオルを預かるなど配慮している。 ・朝礼、毎週月曜の昼礼にて子どもの姿を共有し、クラス会議では、職員間で子どもの姿、保育をアセスメントした上で当月の指導計画の見直し、次月の指導計画の作成検討を行っている。 ・毎月の職員会議の際に「コンピテンシー」を確認し、日々の保育を項目ごとに見返すことができるようにしている。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが集団活動に参加しながらない場合は、本人の意思を尊重し、そばで見る事によって参加する消極的参加で様子を見ながら、自分から参加に踏み出せるように見守りながら支援している。 		
【A4】	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「年間指導計画(3歳児2019年度)」「クラス会議(議事録)」「ケース会議(議事録)」「重要事項説明書」「保育品質マニュアル 4.保育の項目」、ヒアリング、現場視察</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの発達状態に応じて食事、排泄、着脱、歯磨きなど基本的な生活習慣に関心を持ち、身につくよう、各年齢の年間指導計画に基づき取り組みを行っている。 ・トイレトレーニングは子どもの様子を見て保護者と連携をとりながら進めることとし、降園時にはその日の様子を口頭で伝えるとともに、専用アプリを連絡帳として保護者との情報交換の補完的な活用としている。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人のマークをロッカーに貼り、文字が読めなくても自分の荷物の置き場が分かるようにして、徐々に自分で片付けができるように促し、できることは自分行うよう働きかけている。 		
【A5】	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「年間策定会議議事録(2019年3月3日)」「キックオフミーティング(2019年3月22日)」「保育の質を上げる会議(議事録)」「散歩マップ」「ハザードマップ」「園庭改良計画」、ヒアリング、現場視察</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭では、友達と長さの違う木材で泥場に橋を作ったり、木にロープでぶら下げたタイヤのブランコで順番で遊ぶなど、自然に触れながら友達と共同の活動やルールが身に着けていくよう援助している。 ・園庭改造委員会を発足し、施設全体の環境の見直しや整備を行っている。(取り組み事例「ビオトープ作成(6月)」「芝生育成(8月)」「砂場作成(9月)」「園庭改造(10月)」「ヤギ小屋整備改造(11月)」) ・年間策定会議、キックオフミーティングにて、子どもの主体性と環境に繋がる次年度に向けた会議を実施している。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な発達段階の子どもが主体的に活動し、周囲に興味や関心がもてるよう「ゾーン保育」を実施し、子どもの意見や思いを尊重した保育に取り組んでいる。 		

【A6】	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「職員会議(議事録)」「クラス会議(議事録)」「保育の質を上げる会議(議事録)」、ヒアリング、現場視察</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授乳時は、落ち着いた雰囲気の中、職員と子どもが1対1で安心して子どもと目線をあわせ語りかけ、子どもとの愛着関係が持てるように配慮している。また、着替えの際も「さっぱりしようね。」と言葉をかけるなど、特定の職員が応答的に関わるよう心がけている。 ・保護者には降園時に、保育中の排泄や睡眠など子どもの様子を詳しく伝えるように心がけ、離乳食の進め方は話し合いながら進めるなど、連携を密に取り、信頼関係を気付くよう心がけている。 ・毎月の職員会議、クラス会議、保育の質会議などを通して一人ひとりの発達を共有、アセスメントしている。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作りの階段を設置し、室内で階段の上り下りを子どもが意欲的に行えるようにするなど、室内環境の整備に取り組んでいる。 		
【A7】	A-1-(2)-⑥ 1歳以上3歳児未満の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「職員会議(議事録)」「クラス会議(議事録)」「保育の質を上げる会議(議事録)」、ヒアリング、現場視察</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2歳児は、園庭や公園で職員が見守る中、土遊びや昆虫探し、ドングリ拾いなど探索活動が行える環境を整備している。植物や昆虫は持ち帰り、絵本や図鑑で調べたり子どもの手作り葉っぱ図鑑を制作するなど遊びの広がりにつなげている。 ・毎月の職員会議、クラス会議、保育の質会議などを通して一人ひとりの発達を共有、アセスメントしている。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士のトラブルに対しては、一方的な仲裁をしないように双方の言い分を聞き、補足してお互いに伝え、どうすればいいか自分たちで考えられるように援助し、子どもの気持ちを尊重した対応に努めている。 		
【A8】	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「職員会議(議事録)」「クラス会議(議事録)」「保育の質を上げる会議(議事録)」、ヒアリング、現場視察</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4歳児は同じクラスで活動をしており、日常的に異年齢の交流が行われている。遊びの内容によっては室内をパーテーションで区切り、ダンスなど体を動かす遊びと絵本を読んだり折り紙で遊ぶ子がそれぞれ集中できるように配置などの工夫をしている。 ・5歳児は当番制で給食の配膳や、行事に向けて友だちと協力しあいながら活動や制作に取り組めるような環境を整えている。保護者には運動会などの行事を通して子どもの育ちを伝えている。 ・毎月の職員会議、クラス会議、保育の質会議などを通して一人ひとりの発達を共有、アセスメントしている。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の関わりの中でトラブルや意見が食い違った場合は、ピーステーブルを使って机を挟んでお互いに納得できるまで話し合えるように見守りながら支援している。 		

【A9】	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「入園のしおり」「重要事項説明書」「保育品質マニュアル 36.インクルーシブ保育」「要支援児早期発見対応マニュアル」「個別支援計画」、法人Webページ、ヒアリング、現場視察</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人全体の方針として「インクルーシブ保育」を実践しており、入園のしおり、重要事項説明書、Webページでその実践を周知している。 ・配慮の必要な子どもは個別支援計画を作成し、職員会議において共有して同じ空間で包括的な保育を行っている。子どもの状態により、クールダウンできるような場所へ誘導して職員が隣に付添うなど個別の対応をし、園全体で支援している。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の玄関は車イスで移動できるように段差をなくし、建物から園庭へはスロープを付け、2階の移動はエレベーターを設置するなどバリアフリー化に配慮している。 		
【A10】	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「入園のしおり」「伝達簿」「こんだて 2019年12月<夕食>」、ヒアリング</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝は7時から8時までは5歳児のクラスに全員集まり、夕方は16時半頃に0・1・2歳児が1・2歳児のクラスで合同で過ごしている。 ・年齢に合わせてそれぞれが落ち着いて過ごせるようなコーナーづくりをしており、保育時間の長い子どもも自分の居場所を見つけて静かに過ごすことができるよう配慮している。 ・子どもの状況については、職員が伝達簿を使って引継ぎを行っており、お迎え時には保護者に子どもの様子を口頭で伝えている。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日の延長保育の依頼は随時受け付けており、夕飯の提供も当日16時まで対応し、保護者の就労などに配慮している。 		
【A11】	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「5歳児/小学校1年生との年間連携計画書」「就学相談面談記録」「2018年度事業報告書」「保育品質マニュアル 19.卒園、進級、中途退園」、ヒアリング</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会に基づき就学相談面談(2019年12月1日～随時)を実施し、保護者との連携を行った。 ・保護者と面談した保育所児童保育要録を修学予定の小学校へ送付した。また同小学校との交流会に年間6回、延べ52名(職員間交流11名、子ども間交流41名)が参加した。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間連携計画書→保護者懇談会→就学相談面談→保育所児童保育用保育小学校との交流参加会と、計画を順を追って適切に実施している。 		

A-1-(3) 健康管理		
【A12】	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「保育運営マニュアル 6.保健計画」「保育品質マニュアル 12.園児健康管理、13.14.危機管理」「発生時対応フローチャート」、ヒアリング</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理、感染症拡大防止のための清掃や消毒方法などに関して各種マニュアルを整備し、実施している。 ・既往症、予防注射については、保護者に「入園時の調査票」を提出してもらい、入園後は速やかに保護者から情報を得られるように、登降園の対応時に言葉かけし情報収集している。 ・流行性の病気が発生した場合は「発生時対応フローチャート」を活用し、速やかに報告相談掲示し、保護者に注意喚起の上、情報開示している。報告が必要な感染症は、自治体(鶴見区役所)に報告している。 ・毎月、事故防止委員会の中で、SIDSをはじめとした重大事故の事例検証を実施している。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児突然死症候群(SIDS)防止対策として、睡眠開始以降5分ごとに職員が子どもの睡眠時の姿勢や睡眠中のプレスチェックを行い、専用アプリにてオンタイムで保護者に配信し、見える化している。 		
【A13】	A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「保育運営マニュアル 6.保健計画」「保育品質マニュアル 12.園児健康管理」「乳幼児健康診断票」、ヒアリング</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルに基づいて計画的に健康診断や歯科検診を実施している。 ・年間2回、健康診断(5月24日、11月22日)および歯科検診(6月11日、11月12日)を実施し、医師の診断結果を「乳幼児健康診断票」に記録し、保護者の確認印を受領する方法で周知を徹底している。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園看護師が、年間行事計画通りに、歯磨き指導を専用教材(大型の歯の模型と歯ブラシ)を使用して全クラスに行っている。 ・食後の歯磨きを給食後毎日行い、職員が歯ブラシを洗浄・乾燥している。歯ブラシは保護者に毎月交換を提示し月末に返却して、衛生に配慮している。 		
【A14】	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「除去食申請書(保護者記入書類)」「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表(医師記入書類)」「保育運営マニュアル 7.食育計画」「給食提供マニュアル」「保育品質マニュアルP.115」「キックオフミーティング(2019年3月22日)」、ヒアリング、現場視察</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー食に関しては、入園前の面談で栄養士が保護者から聞き取りを行い、アレルギー疾患生活管理指導表をもとに、マニュアルに準拠して完全除去食にて対応している。 ・次月の献立の中で除去するアレルギー食材を献立表にマーカーで印をつけ、毎月25日までに保護者から確認印を受領している。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食提供の際は、給食室から配膳まで職員間で確認表に印鑑を押して3段階チェックを行い、一人ひとりのトレーに写真とアレルギーの食材を貼り、専用食器を使用して配膳している。また、子どもが喫食する間は誤食による事故を未然に防ぐため、職員が1名ついて見守りを行っている。 		

A-1-(4) 食事		
【A15】	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫している。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「保育運営マニュアル 7.食育計画」「保育運営マニュアル 8.給食提供マニュアル」「保育品質マニュアル 11.給食にて」「給食会議(職員会議同日)(議事録)」「献立の振り返りと代替案」「クッキング計画表」「重要事項説明書」、ヒアリング、現場視察</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食は当番制で5歳児がエプロンと頭巾をつけて3・4歳児に配膳を行っている。子どもは好きな席に座り、季節により縁側で食べるなど、楽しく食事がとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。 ・栄養士が年間のクッキング計画表を作成し、畑活動と併せて季節の食材を使った料理や、柏餅やクリスマスケーキなどの行事食のクッキング保育を毎月実施している。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焚火体験の中から子どもの姿に合わせて随時クッキングを取り入れるなど、通常保育の中でも食について関心を深めるための取り組みを行っている。 		
【A16】	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「健康増進法に基づく給食施設のための栄養管理の手引き 2018年版」「保育運営マニュアル 7.食育計画、8.給食提供マニュアル」「保育品質マニュアル 11.給食にて」「給食会議(職員会議同日)(議事録)」「給食日誌の残食記録」「献立の振り返りと代替案」「衛生管理点検表」「個人点検表」、ヒアリング、現場視察</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士は子どもと一緒に給食を食べ、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。給食日誌や残記録をもとに、食事の提供方法、対策を給食会議や朝礼で検討し、献立・調理の工夫に反映している。 ・衛生管理は、給食室は衛生管理点検表、職員は個人点検表で毎日衛生管理を行っている。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児の離乳食は、食材の大きさや固さを保護者と一緒に確認し、一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮して、献立・調理の工夫をしている。 		

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
【A17】	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「入園のしおり」「保護者懇談会議事録」「利用者アンケート2019」「重要事項説明書」、ヒアリング</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者懇談会を年2回実施し(2019年6月19日、11月21日)、その中で保育の取り組みを提示し、保育士、保護者と懇談を通して共通理解できる場を設けている。 ・年1回、保護者に「利用者アンケート」を実施し、課題は職員会議にて検討している。 ・入園の際に「入園のしおり」に則り、理念・保育目標・保育内容・課外体験・園と家庭との連携・食育・健康管理・苦情解決の体制などについて説明を行っている。また、入園時に必要な経費や個人情報取り扱いなどについて、読み合わせながら説明し、最終的に「重要事項説明書」を用いて説明している。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用アプリを使用して、毎日の連絡、タイムライン、アルバム、各手紙などの情報を共有している。写真を利用して、日常の保育の様子を保護者と共有化し、見える化を図っている。 		
A-2-(2) 保護者等の支援		
【A18】	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「伝達簿」「個人面談記録」、ヒアリング、現場視察など</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用アプリにて、毎日の連絡帳、タイムライン、アルバム、各手紙を活用しコミュニケーションの場を登降園時の会話以外にも広げている。 ・個人面談は希望者を対象とし、年間を通して受け付けている。就労の都合によっては夜の7・8時からの面談にも対応している。相談の内容により、その場ですぐ答えられないものは保留にしてみらい、施設長や主任と話し合い、必要に応じて園長や主任から回答するようにしている。個人面談の内容は記録し、ファイルで保管している。 <p>【改善を要する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談は年に数件しか行われていない。個人面談の案内は、法人が専用アプリを通して4月1日に行っているが、園独自では案内をしていない。年度初めの保護者懇談会で口頭と書面で周知し、年1回は一定の面談期間を設けて保護者の希望日時をうかがい、個人面談を行うとよい。 		

【A19】	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「保育品質マニュアル 9.虐待」「虐待早期対応フローチャート」、ヒアリング、現場確認</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待早期対応マニュアルをキックオフミーティング(2019年3月22日)で全員が読み合わせている。 ・職員更衣室内に虐待早期対応フローチャート(ラミネート加工)の掲示を行っている。 ・職員に保育品質マニュアルを配布し、マニュアルを各自携帯していつでも確認できるようになっている。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設長が自治体主催の「鶴見区要保護児童等対策地域協議会並びに子ども・家庭支援相談事業関係機関・DV防止連絡会」(2019年6月21日、11月29日)に参加し、虐待対応のための情報共有、連携を行った。 ・配慮を要する子は、定期的にカンファレンスを行い、自治体、児童相談所、当施設と情報共有し連携をとっている。 		

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		
【A20】	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<p><コメント></p> <p>【確認手段】資料「コンピテンシー」「スキルアップシート」「目標管理シート」「2018年度事業報告書」、ヒアリング</p> <p>【確認した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が毎月の園会議の時間内にコンピテンシーの自己評価を記入している。 ・5月・11月期に「スキルアップ面談」、「スキルアップシート」の作成、「フィードバック面談」を個人別に行い、個別での振り返りを行っている。 ・「目標管理シート」により、前期(6月)、中期(11月)、後期(3月)に動機、テーマ、達成レベル度合等、目標の振り返りを行っている。 ・年間2回、「スキルアップシート」を用いて職員のスキルアップ面談を行っている。「スキルアップシート」の記入事項は人事考課とリンクし、施設長推薦の根拠となっている。 <p>【評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修における「コンピテンシー自己採点」と振り返りによって、職員の保育事業に関する理解と実践能力が段階的に向上するとともに、職員全体のレベルアップにつながる。なおコンピテンシーの危機管理項目は、リスクアセスメントの手法を採用するものと思われ、職員が自己評価のステップを積むことで当施設全体の子どもの安全管理レベルの向上に貢献する。 ・「目標管理シート」「スキルアップシート」、上司との面談、人事考課のパスによって、施設長と職員の技量と保育の質の向上が期待できる。また、上司との面談は本事業を遂行する上で欠かせないコミュニケーション能力の向上に寄与することが期待できる。 		